



御学校だより

2024年10月7日
藤沢市立御所見中学校
校長 山田 大

「大歌の快進」～ホールに響かせた美しいハーモニー～

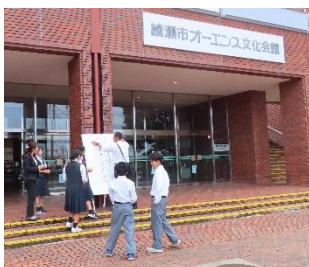
9月30日(月)「大歌の快進」をスローガンに、綾瀬市オーエンス文化会館で合唱コンクールが行われました。昨年は海老名市文化会館で保護者の参観を入れ替え制で実施しましたが、今年度は5年ぶりに何も制限なく開催できたことを大変嬉しく思います。

素晴らしい会場の舞台に上がり、まぶしいライトに照らされて堂々と歌い上げる生徒のみなさんの合唱に感動しました。

この素晴らしい舞台を提供いただいた綾瀬市オーエンス文化会館のスタッフの皆様へ感謝致します。また、舞台を整えるという意味では、合唱コンクール実行委員の働きも素晴らしく、当日も含め長期間準備に取り組み、舞台での挨拶・進行も緊張しながら立派に務め、今回の成功を陰で支えてくれました。

また、多くの保護者の皆様へ参観いただき、アンケートにご協力いただき感謝申し上げます。感想の内容として、「1年生と思えない合唱力でした」、「どのクラスも練習時間が少ない中、とても頑張っていたと思います」「子どもたちの頑張っている姿を見て、パワーをもらいました」、「1年生から2年生と上達するのが分かり、3年生はさすがでした。感動をありがとうございました」など、生徒の頑張りを賞賛するものが多く見られました。また、職員に対するねぎらいの言葉や、運営面やスケジュール、保護者の鑑賞マナーについて改善点を指摘するご意見も頂戴しましたので来年度に活かして参ります。

「自分も人も大切に」して、本当に素晴らしい時間を会場全体で共有することが出来ました。来年度も大いに期待しています！生徒のみなさん、ありがとうございました。



よりよい学校を創造する～生徒会選挙・立会演説会～

10月3日(木)新しい生徒会本部役員を決める選挙の立会演説会と投票が行われました。それぞれの候補者・推薦責任者が街頭演説・政見放送などの選挙活動を経て、5時間目の立会演説会では、推薦理由や公約・方針・思いが語られました。中でも印象に残っている言葉は、推薦者の「人に注意できる」、立候補者の「みんなの声を聞いて」というものです。人の間違っただけの行動を指摘することは難しいことです。ましてや仲の良い友人なら嫌われたくない思いから流してしまうこともあるでしょう。リーダーのイメージとして、考えを示したり指示を出したりすることが得意な人を想像しがちですが、生徒の意見・考え・思いを大切にす候補者たちの言葉に、聞いているみなさんは安心感と信頼感を抱いたのではないのでしょうか？

選挙の結果、選ばれた役員の紹介や抱負については次号で紹介します。



安心して失敗できる環境を～心理的安全性～

合唱コンクールの校長挨拶の中で、「失敗を恐れて、出だしの様子見は良くない」という話をしました。本番の舞台に上がり、緊張から「もし、出だしの音を外したら…。」と思うと、つつい周りを頼って、「みんなの声を聞いて、自分は後から…。」と様子を見てしまうことがあります。

気づいたら、みんなが様子を見てしまい、出だしから全体の声量が足りず、それが後を引いて全然実力が出せなかった、なんてことがよくあります。

前回の「学校だより」に、成功の反対は失敗ではなく「何も挑戦しないこと」です。と書きました。勇気を持って大きな声を出す、「その人」がいなければ、せっかくの練習が台無しになります。みなさんには「その人」になってほしいのです。また、「その人」が失敗したとしても責められたり、笑われたりしない安心感があれば、「その人」が増えていくと思います。理想としては、「その人」になろうとして大きな声で音を外してしまっただけ、みんなが大きな声を出していたから、全然目立たなかったという状態。安心して失敗できることを心理的安全性が高いと言います。御所見中学校の生徒がみんな「その人」になり、安心して失敗できる学校になることを願います。

11月6日（月）に1年生が校外学習として目久尻川のクリーン活動に出かけます。

1時間目に学校から歩いて行き、目久尻川の戸中橋周辺で清掃作業を行い、昼食時間に戻ってきます。保護者の皆様もお時間があれば是非ご参加ください。